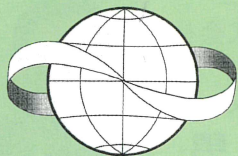


ヴェーナス通信

Venous (静脈)Venus(護美の女神)



第39号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 紺野武郎 編集長 吉浦高志
東京都東村山市久米川町1-16-18
Tel&Fax 042-395-9788

環境社会検定試験 (ECO検定)とは

東京商工会議所が主催しているECO検定(第二回)が、去る七月十五日に行われた。環境と社会を考える新検定として、受験希望者も全国から集まり話題になっていて、検定試験用のテキストは二百頁に及ぶ含蓄のある内容であり、試験の方もかなり難解である。

テキストの全頁を精読し記憶して行かなければ七〇点の合格ラインをクリアするのは難しいようだ。内容は、地球環境の現状分析から始まって、環境をめぐる内外の動きに統計を添えて、経済面社会面から解説している。暮らしと環境・環境と共生する方法など「持続可能な地球環境」への取り組み方は、受験しなくても必見の書だ。世界中の多くの国々や国際機関の人々が、夥しい時間と労力をかけ、多種多様な面から条約や議定書各種法律などのルールや基準を作つてその実現を目指している。

以下内外活動の一部を列記する。一九四八年「IUCN II 国際保護連合」設立・五七年「自然公園法」・六七年「公害対策基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法」・六八年「騒音規正法」・七〇年「廃棄物処理法」七一年「ラムサール条

約」・七二年「国連人間環境会議」

「自然環境保護法」・七三年「ワシントン条約」・七五年「世界遺産条約」・七九年「省エネ法」・八四年「ブルントラント委員会」・八五年「ヘルシンキ議定書」・ウイーン条約」・「熱帯雨林行動計画」・八七年「モントリオール議定書」八八年「IPCC」設立「ソフィア議定書」・八九年バーゼル条約」・九二年「リオデジャネイロ地球サミット」・九三年「持続可能な開発委員会」

「環境基本法」 「生物多様性条約」・九四年「国連砂漠化対処条約」・九五年「容器包装リサイクル法」・九六年「ISO14001」制定

・九七年「京都議定書」・九八年「家電リサイクル法」・二〇〇〇年「循環型社会形成推進基本法」 「資源有効利用促進法」グリーン購入法」 「食品リサイクル法」 「建設リサイクル法」・〇一年「東アジア酸性雨モニタリングNW」 「フロン回収推進法」・〇二年「ヨハネスブルク宣言」 「自然再生推進法」・〇四年「都市緑地法」 「景観法」・〇五年「食育基本法」 など等。

このほかにもGRI・CERES・UNEP・SRI・PRTS・MDS・ITS・ESCO等

たくさん環境に関する略語や記述・書籍の解説が載っている。

戦後間もなくの半世紀以上も前から世界中の多くの人々が、未来の地球環境に警鐘を鳴らし続けていたことが解る。

今から九〇年も前に、インドのマハトマ・ガンジーも、「科学や文明の発展とは、地球の富をぐみに変えることだ。」と忠告している。

しかしながら条約や法律の屋上屋を重ねても、地球の環境破壊は止まらない。各国とも各論になるとエコよりエゴが優先してしまう。

特に我が国は、ドイツのハイリゲンダムサミットにおいてCO2削減案を高らかに提唱し、来年は洞爺湖環境サミットの議長国である。だが、京都議定書で約束した目標値は、努力をしても達成できないだろうと表明している。

経済が成長し膨張し続けなければ、年金も払えないし国造りも不可能となる政策と環境先進国を名乗る矛盾は解消できるのだろうか。

この一年間「こんなものいらない」調査を行ってきたが、先ず我々に出来ることは、自分自身の身の回りにある無駄を一つ一つ元から断ち切つて行く運動を地道に続けて行くことだと痛感した。

ひとりでも多くの人がエコピープルになつて環境問題を意識してほしいとテキストは結んでいる。

直言拝聴

「ハイ、“よろこんで” 真心込めて！」



ユニクル株式会社

代表取締役

入江金男

私の好きな言葉は「ハイ、よろこんで」真心込めて！です。弊社の電話に出る挨拶の言葉です。志水陽光先生との出会いがあり先生にお許しを頂きこの言葉を使わせて頂いております。

私は、一九四八年長崎県五島市に生まれ、一九七〇年に大阪の友人を頼って上阪しました。学歴も無く教養もない自分でありながら、会社勤めより自分自身、独立して事業を興したいと考え、友人の紹介で、再生資源回収業の問題に就職しました。

問屋の社長に「三年頑張ったら独立させてやる」と言われ独立するのを夢みて、大阪の梅田付近等をリヤカーやトラックで古紙や金属の回収を行い、休日も自分のほ

うから申し出て休まず仕事をしました。

五年目でやっと念願の円満な独立をしましたが、得意先は数件しかなく、売上も少なく、アパートの家賃も三ヶ月待って貰う事もある日々でありました、小さな仕事でも頼まれると本当に嬉しく仕事を頂ける事が毎日の励みになりました。

そんな時、故郷の学校の先輩が店長として勤めているスーパーの新規開店がある事を聞き、手伝いに行く事にしました、早朝より鮮魚・野菜の仕入れで中央市場に行き、配送後、商品の陳列等を手伝いその後、自分の仕事でスーパーや企業を訪問して段ボールや書類・金属等の回収をしてその後、営業で開拓していきました。

はじめての所に営業いき、お仕事を頂いた時は素直に「有難うございます！」と頭を下げています。私でした。

自分の心の中には「ハイ、よろこんで」真心込めて！お仕事をさせて頂きまず、というお礼の気持ちで一杯でした。

仕事が増え従業員が一人、二人と増えて行きましたが、一年も勤まらず辞めていきます、自分には色々な心の中での葛藤があり

る態度・姿勢です。社員全員がお客様及び訪問して下さる方に明るい挨拶で丁寧な対応をする事、そして社員一人々が廃棄物処理のプロである事、つまりプロのリサイクルアドバイザーなのです。日本

創造教育研究所の研修や廃棄物処理法の勉強会、各地の先進企業訪問等を積極的に、自社内での「理念と経営」の勉強会やISOやJISQ15001・Pマークの勉強会等を定期的に行っています。

ユニクルの年間の研修費用は約三〇〇万円の予算を組んでいます。現在では食品リサイクル法の生ゴミから肥料(液肥)を作る中間処理場の許可を三年後に取得したいと計画しています。これにはまずリサイクル品の出口が一番だと考え生ゴミを液肥にした肥料を利用した有機減農薬野菜の栽培を行っています。

大阪府能勢町に一〇アールの畑を借りて、液肥だけで他の化学肥料や農薬は一切使用しないで栽培しています。野菜作りを基礎から学ぼうと大阪府の農業大学の「野菜の短期養成講座」に一年間(年間で六〇日間)学びました。また近くの農家の方々に液肥による有機減農薬栽培が畑、田んぼに蒔いて作物にどのような成果がでるか

ました。一番の問題は従業員との人間関係でした。一九八八年スーパーの店長さんの紹介で日本創造教育研究所の田舞徳太郎さんとの出逢いがありました。田舞さんに「入江さん貴方は自分の為になんぼのお金を使っている？」と質問されましたが、何の事かとうさには答えられませんでした。同じ長崎の出身という親密さと私と同じ中学校しか出ていないのにこの人は凄いなと感じました。

そして、日本創造教育研究所のセミナーを受講する事になりました。最初の「可能思考研修」で自分自身の色々な事に気づく事が出来、目的・目標を明確にして仕事に勉強にと毎日頑張ってきました。目標をたてた五年後一九九三年にユニクル株式会社を設立し社員さんも一人二人と増え現在十一名です。現在は社員全員が可能思考研修を受講し、可能思考研修を受講する事が正社員になる必須条件となりました。私と社員が同じ研修を受け同じ目的・目標を目指して業務に励んでいるとセミナー受講前と受講後では会社の社風が少しづつ変わり増収増益の会社になってきました。現在は廃棄物を選別、分別し再生資源に変えるリサイクル業を行っていますが、七年前迄

は段ボールをパッカー車で回収し問屋に納入するだけの業務でした。二〇〇一年頃から古紙の価格が低価格で引き取りされるようになり、自分で自分の商品の価格を決める事が出来ない状況では目標も立てる事が出来ない。そこで、色々と社員とも話し合いまた日創研の業績アップ研修でもアドバイスを受け、現在の仕事に変える事にしたのです。けれども産業廃棄物処理業の仕事は資本も設備も豊富に持っている大手の業者に対等に営業しても勝ち目はありません。そして新規で弊社みたいな経験もない業者に仕事を任せてくれる企業等ありません。古紙回収業を止める時は次の仕事が起こ動にのる迄社員さんにお願ひして給料を今迄の八〇%に下げてもらい、リストラもなくそれで社員全員が残り頑張ってくれました。私をはじめ幹部社員が職能研修を受講し、今までのどっぷり勘定ではなく目的・目標を明確にして、中・長期経営計画書の作成 ISO14001 の取得、

JISQ15001・Pマークの取得等を自社自身で取り組み、適正処理・適正料金・法遵守のリサイクル企業として零細企業ではありませんが、産業廃棄物収集運搬業の優良事業者に全国で八番目。大阪府、大阪

解かってもらい、自社で液肥を作る事が出来た時にはこの液肥を使用してもらおうと農家の方々の親密な交流も行い、畑のあぜの草刈りや色々な行事にも参加しております。この液肥を使用した栽培農業は現在、北海道、鳥取、島根、静岡等で産業廃棄物処理業者が行っており、弊社は鳥取の業者から液肥を定期的に買って使用しております。

また、ユニクルはユニークな会社なので制服は一〇月から四月までは黄色のカッターシャツに蝶ネクタイで赤のジャンパーです、五月から九月は半袖の薄いピンクのシャツで廃棄物の収集にいきます。また、朝礼では社員一人々が相手の目を見て「何々さんおはよう御座います、本日も宜しくお願い致します」と挨拶をします、私も社員一人ひとりに挨拶をします、その後ラジオ体操をし、全社員が本日の自分の業務の内容を発表し一日一名が三分間のスピーチを行い、そのスピーチに上司がコメントします。終礼は司会者が毎日代わり本日の売上の記帳や今月の目標売上高の進捗状況や一日を振り返り、お客様からのクレームや自分自身で気づいた事、反省点、「ヒヤリハット」等を発表し、明日の収集予

定の段取り等を決定、車両の鍵、許可証、ETCカード、マニフェスト等の管理点検を行います。

尚、弊社では一年間の売上目標と毎月の売り上げ目標を設定して、目標を達成した月は報奨金が出ます、けれども昨年より売上が少ないと罰金です。このような事は私が指示してやっていることではありません、社員全員が自分自身で肯定的に行っているものです。

私は再生資源業界にも人材育成が大事ではないかと考えます。今まで色々な方々にお世話になり、現在の自分と会社があります、私の好きな言葉 「ハイ、よろこんで」真心込めて！これからもこの言葉を大切にして私達の仕事が、世界の環境保護に役立つ企業に成長するよう学び続けていきます。今回この様な機会をお与えて下さいました紺野理事長様に心より感謝申し上げます。

市、堺市、高槻市、兵庫県、神戸市では一番目の認定業者になりました。現在のお客様は大手企業様が七〇%です、処理料金を極端に安くしてくれとか契約書は要らないと言って契約を交わしてくれない企業様にはこちらから丁寧にことわりしております、環境問題を大事に考えている企業様に適正な処理代金・リサイクル料金の提案をしております。売上高は毎年八%〜一〇%アップしか伸びていませんが「お客様喜びは私達の喜び」と言う考えで事業展開を行っています。弊社には産業廃棄物収集運搬業(積替保管も取得)でも廃棄物を再生資源にリサイクルする業務を主に、お客様(排出事業者)との連携により排出先で選別・分別を徹底的に行ってもらっています。資源物は有価で買取り、お客様が分別出来ない物は自社で選別し、廃棄物は少しでも出さない、そしてお客様にコスト削減の提案を行っています。

また、弊社はユニクルという社名の通りユニークなリサイクルを行う企業として、倉庫内は整理整頓に勤め、その日に収集した廃棄物・資源物はその日に処理する事にしていきます。一番大切な事は私をはじめ社員の日々の業務に対す

は段ボールをパッカー車で回収し問屋に納入するだけの業務でした。二〇〇一年頃から古紙の価格が低

価格で引き取りされるようになり、自分で自分の商品の価格を決める事が出来ない状況では目標も立てる事が出来ない。そこで、色々と社員とも話し合いまた日創研の業績アップ研修でもアドバイスを受け、現在の仕事に変える事にしたのです。けれども産業廃棄物処理業の仕事は資本も設備も豊富に持っている大手の業者に対等に営業しても勝ち目はありません。そして新規で弊社みたいな経験もない業者に仕事を任せてくれる企業等ありません。古紙回収業を止める時は次の仕事が起こ動にのる迄社員さんにお願ひして給料を今迄の八〇%に下げてもらい、リストラもなくそれで社員全員が残り頑張ってくれました。私をはじめ幹部社員が職能研修を受講し、今までのどっぷり勘定ではなく目的・目標を明確にして、中・長期経営計画書の作成 ISO14001 の取得、

JISQ15001・Pマークの取得等を自社自身で取り組み、適正処理・適正料金・法遵守のリサイクル企業として零細企業ではありませんが、産業廃棄物収集運搬業の優良事業者に全国で八番目。大阪府、大阪

解かってもらい、自社で液肥を作る事が出来た時にはこの液肥を使用してもらおうと農家の方々の親密な交流も行い、畑のあぜの草刈りや色々な行事にも参加しております。この液肥を使用した栽培農業は現在、北海道、鳥取、島根、静岡等で産業廃棄物処理業者が行っており、弊社は鳥取の業者から液肥を定期的に買って使用しております。

また、ユニクルはユニークな会社なので制服は一〇月から四月までは黄色のカッターシャツに蝶ネクタイで赤のジャンパーです、五月から九月は半袖の薄いピンクのシャツで廃棄物の収集にいきます。また、朝礼では社員一人々が相手の目を見て「何々さんおはよう御座います、本日も宜しくお願い致します」と挨拶をします、私も社員一人ひとりに挨拶をします、その後ラジオ体操をし、全社員が本日の自分の業務の内容を発表し一日一名が三分間のスピーチを行い、そのスピーチに上司がコメントします。終礼は司会者が毎日代わり本日の売上の記帳や今月の目標売上高の進捗状況や一日を振り返り、お客様からのクレームや自分自身で気づいた事、反省点、「ヒヤリハット」等を発表し、明日の収集予

定の段取り等を決定、車両の鍵、許可証、ETCカード、マニフェスト等の管理点検を行います。

尚、弊社では一年間の売上目標と毎月の売り上げ目標を設定して、目標を達成した月は報奨金が出ます、けれども昨年より売上が少ないと罰金です。このような事は私が指示してやっていることではありません、社員全員が自分自身で肯定的に行っているものです。

私は再生資源業界にも人材育成が大事ではないかと考えます。今まで色々な方々にお世話になり、現在の自分と会社があります、私の好きな言葉 「ハイ、よろこんで」真心込めて！これからもこの言葉を大切にして私達の仕事が、世界の環境保護に役立つ企業に成長するよう学び続けていきます。今回この様な機会をお与えて下さいました紺野理事長様に心より感謝申し上げます。

は段ボールをパッカー車で回収し問屋に納入するだけの業務でした。二〇〇一年頃から古紙の価格が低価格で引き取りされるようになり、自分で自分の商品の価格を決める事が出来ない状況では目標も立てる事が出来ない。そこで、色々と社員とも話し合いまた日創研の業績アップ研修でもアドバイスを受け、現在の仕事に変える事にしたのです。けれども産業廃棄物処理業の仕事は資本も設備も豊富に持っている大手の業者に対等に営業しても勝ち目はありません。そして新規で弊社みたいな経験もない業者に仕事を任せてくれる企業等ありません。古紙回収業を止める時は次の仕事が起こ動にのる迄社員さんにお願ひして給料を今迄の八〇%に下げてもらい、リストラもなくそれで社員全員が残り頑張ってくれました。私をはじめ幹部社員が職能研修を受講し、今までのどっぷり勘定ではなく目的・目標を明確にして、中・長期経営計画書の作成 ISO14001 の取得、

日資連岐阜大会 全国組織化盛大に開催

第三十五回、日資連（日本再生資源事業連合会・会長・紺野武郎）全国大会。岐阜大会が、去る六月十日、岐阜グランドホテルにて開催された。

日資連は長年の懸案であった全国四十七道府県の組織化を達成して文字通り全国組織として大いなる前進を開始した。

主催者を代表して紺野会長が挨拶を行った。以下概要

「第二十一回の岐阜大会当時は鉄屑、古紙等の大暴落、逆有償という時代であった。

それが今日では昨年の非鉄金属資源の高騰を始め、古紙類も徐々



式典で挨拶する紺野会長



式典で表彰される日資連功労者

反面、各地方自治体の財政難は改善されない状態が続いている。

日資連はリサイクル業界の中核として資源循環型社会構築の一翼を担うべく、地方自治体、地域社会・市民、業界の協力、連携を強め、真に3R実現に向けて、新たなビジョンを立てて進めていく。

その推進のために、リサイクル化証明書の全国的普及。二、リサイクルシステム議員懇談会との連携の強化を通して国や関連機関へ提言を行う。など。

また、日資連の社会的地位向上のためにも引き続き参加組合員の質的向上を図るべく、優良事業者認定制度を活用していく。



パーティで行われた太鼓のアトラクション

今秋には全国中小企業団体連合会の援助を得て研修会を予定している。日資連のもう一段の飛躍のために組合員各位の知恵とご協力を賜りたい（要旨）と結んだ。

来賓には河村たかし衆議院議員、細江茂光岐阜市長ほか行政、関連業界から多数のご出席を賜った。

第二部では日資連発展に尽くされた方々の表彰式がおこなわれるとともにアトラクションとして会場に大きな水槽が設置され鶴飼の実演が披露された。

ほかにも地元の民話劇、花火大会など催された。

トヨタ自動車工場と

大手古紙問屋福田三商株を見学

○トヨタ自動車

去る六月十一日（月）、世界的に有名なトヨタの生産ライン「ジャストイン、タイム方式」の自動車組み立て工場を、当組合員十五名と、東資協新井理事長他三名で見学することが出来た。見学現場である元町工場では、若い女性のガイドさんがつきつきりで案内をしてくれた。見学コースの入口には、有名なハイブリットエンジンの模様が飾られていて、仕組みがわかる様になっていた。組立ラインのコースに入っていくと、想像した光景とはかなり違っており、一日中同じ車の同じ場所を組み立てているか、チェックするのだろうかと考えていたが、ライン上には、カムリ、プリウス、その他数種類の車が流れてくる。車が違くと部品

のスムーズに進めることが出来る。部品箱に必要な部品を入れて

運ぶスタッフがいた。ライン上では作業内容が違う十人が一チームとなり、その中でリーダーは全ての作業をこなせる人がなっている

そう。ユニークなのは、各自の持ち場にぶら下がっている紐スイッチである。何かトラブルが起ったときや、トイレ交代などの時に引いてリーダーに知らせ、ラインを止めずに動かすことが出来るようにしていた。

作業服にきまりはないらしく、入社時に二着渡した後はそのような恰好でも構わない。色んなスタイルで仕事をしているが、目に映った社員の方々は、誇りを持って全力で働いているように見えた。ラインで働く社員からの提言やアイデアも年間何万件にもなり、採用され改善される件数も多く、それに對する褒賞制度も整っている

そう。組立ラインコースの見学は縦一列になって歩くので、前の方にいるガイドさんの声がなかなか聞き取れず残念であったが、物づくり日本のトップをいくトヨタの素晴

らしい組立工場を見学出来た。

（吉浦）

○福田三商株（齋藤社長）

同日同社の豊田営業所と本社、豊田南営業所を見学した。

豊田営業所は自社回収が主体だ。自治会単位の集団回収が主で、新聞が約三〇〇kg入る回収袋を使用して回収していた。そのため、回収は四トンユニット車を使用し、四角のフレコンを、各事業所や集団回収先に置いて、ユニット車で回収し、人件費をおさえた効率の良い回収方法である。

豊田南営業所は、本社ビルの隣にあり、敷地は三千坪との事、シユレッター設備やプレス機も二台設置されていた。扱ひ品目は古紙全般と変わらないが、全国でもあまり実施していない『紙製容器包装の収集と処理』を行っていた。これは名古屋市が実施しているもので、名古屋から市内六業者が月一〇〇トン入札し、紙と廃プラの混合品を収集分別している。福田産商さんも三〇〇トン余り収集し手選別していたが、九割が古紙（その他紙容器以外の段ボール古紙などもかなり混入していた）として製紙メーカーに納入される。残り一割が廃プラとの合成紙など製紙原料とならない禁忌品だった。



福田三商株式会社

これらは固形燃料として出荷されることだった。

また同社の一部営業所ではクランプ、フォーク類をバッテリー式（音が静か、排気ガスがでない）に変えており、割高になるが環境を考慮して数年内に全社で入れ替えたいとのことだった。また、ヤードの建屋もすべて環境に良いシャッター式（騒音や粉塵の漏れない）にしたとのことだった。

本社ビルは六階建ての立派な建物で、六階の全フロアを使って「古紙の森」と名前のついた環境と古紙のリサイクルを楽しく学べるシヨールームを開いていた。地球環境を訴える今、リサイクルの基礎知識、古紙のリサイクルについて、古紙から生まれるモノ、名古屋市の古紙リサイクルのルールや取り組み、紙の歴史、古紙業界についてなど、内容豊富にパネル展示されていた。さすが日本一の古紙問屋である。我が東多摩再資源化事業協同組合でも是非あのような展示場を作りたいと思った。（原口）

トイレットペーパー
「フューメラン」
(65m巻き・100個入り)

- 地元の市役所・公共施設・事業所などから収集されたミックス雑古紙 100%使用!
- 塩素系、酸素系、苛性ソーダなど化学薬品を使わない無漂白品!
- 東村山市・西東京市等の小中学校、公共施設、保育園などで使用され好評を得ています!

(価格) 1ケース2,600円 (いずれも消費税・配達料込)
※尚、配達地域は、以下の地域に限定いたします。
〔小平市・東村山市・東久留米市・清瀬市・西東京市・東大和市〕
ご注文は当組合までお願いします。TEL&FAX :042-395-9788



東多摩再資協青年部 紹介



「ガツチャマンの歌にもあるように、我々の住む地球はひとつしかない。地球はリサイクルできないのだ。でも、資源はリサイクルでき、そして、限りある資源をリサイクルすることで、我々の地球を守る事ができる。

東多摩再資協青年部は、地域のリサイクルを通じて地球環境保護を目指す、次世代のリーダーが集い、同じく現代（いま）生まれた子どもたちが、安心して暮らせる地球とその貴重な資源を守るべく、日々活動を行うことを宣言する」

右のような設立趣意を掲げ東多摩再資協青年部が誕生したのは平成一四年七月五日のことです。初代土井健一郎青年部長の下、一〇名の部員が結集しました。

以来、各地施設見学、研修会の実施、他の青年部との交流、組合事業への積極的な協力をを行い、今年で五周年を迎えることが出来ました。

昨年の総会で土井前部長（現顧問）に代わって藤野理広さんが青年部長に就任し、紺野副部長、水野・福田両幹事、事務・会計の柿

青年部の歩み

崎さんの新体制で活動をしています。

本年度も従来からの機関紙作成やPR活動の協力をしながら、七月の小平三中職場体験受け入れ事業や、中国語講座の開講、エコ検定試験の受験、エコアクション21への取り組みと部員への資格取得のサポート等を行って参ります。

青年部員の歩み

青年部長 藤野理広



第二代会青年部長を仰せつかってる有限会社フジノの藤野理広です。

私は、小さい頃から父親の仕事を手伝って来ました。運転免許を取得する以前は、トラックの助手席に座り回収現場まで行き、荷台の上にいる父親に新聞・雑誌・ダンボール等を渡すのが主な仕事内容。

大学時代に免許を取得してから、自らトラックを運転、回収作業も段々できるようになりました。



故藤野昭吾社長と共に
回収作業に励む青年部長

仕事の面白さも感じてきて、父親の指導の元、一生の仕事にしようと思えました。

一通りの仕事を一人でこなせるようになり、やっと父親に楽をさせたいと思った矢先に、その父親が癌で他界。

「孝行したい時に親はなし」というのは、本当らしいです(苦笑)。それからは、まさに手探り状態。自分がまだまだ一人前ではないことを痛感しました。

まだまだ未熟な自分ですが、リサイクルを通して社会・地域に貢献し、同時に自ら律していきたいと思っています。

小平三中職場体験学習

今年も七月一〇〜一三日の四日間、小平市立第三中学校の職場体験学習の受け入れを行いました。

一三名の生徒さんが当組合員六社の事業所に分かれて体験をして頂きました。内訳は、奥山商店三名、三栄サービス二名、土井商店三名、日興始業一名、JP資源二名、久米川紙業二名。

今年初の試みとして、初日の午後、(社)東京都リサイクル事業協会の戸部広報委員長、富所理事、後藤事務局長を交えてリサイクル勉強会を開催しました。

はじめに、戸部委員長から「びん」のリサイクルについてビデオを使いながら講演していただきました。次に、青年部の紺野と吉浦専務理事による小平市のごみ・資源の分別・リサイクルと紙のリサイクルについての講演を行いました。最後にリサイクルテストを行いました。資源リサイクルについての基礎知識を学んでいただきました。

翌日からは本格的に各社で職場体験に励んでいただきました。当社(三栄サービス)では、朝の始業前点呼から参加してもらい、行政回収・集団回収・事業所回収の助手としてトラックに乗って現場

の積み込み体験や、当社ヤード内の選別作業、鉄間屋の見学をして頂きました。当社には青木君、慶野君という生徒さんがきてくれましたが、二人とも積極的にかつ熱心に作業してくれました。まずは彼らが家庭や学校に帰って資源の分別やリサイクルを実践してもらい、将来的には我々の業界に飛び込んできてくれればなんて淡い期待感を持ちながら四日間の体験学習を終了しました。市民との交流を深めることや、広く業界を理解していただくためにも、今後どんどん受け入れを行っていきたいと思っております。以下、生徒さんたちから感想文を頂いていきますので、抜粋してご紹介したいと思います。



1日目の勉強会の様子

この度は大変多忙な所を職場体験で四日間も面倒を見て下さり、誠にありがとうございます。

「缶プレス」の作業は大変でしたが、よい経験になりました。あのような大変な作業を毎日なさっていると知って、とても驚きました。車両に乗っての資源回収ははじめは辛かったと思っていたのが慣れてくると同時に仕事が楽しくなってきました。この事は私たちの学年やクラスに伝えたいと思います。これからの学校生活で、この体験で学んだことを使い、自分の夢へつなげるように頑張ります。

最後にこれからも健康に気をつけてお仕事して下さい。本当にありがとうございます。



奥山商店での缶プレス作業の様子

拝啓
初夏の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、この間は、職場体験をさせて頂きありがとうございました。

職場体験1日目の勉強会ではごみのリサイクルの仕方とかどういう物がリサイクルするとか何に変わるのかというものが勉強になりました。

2日目、3日目は仕事の大変さを体験してものすごくわかりました。これからもお体に気をつけて下さい。

敬具



JP資源社での新聞の選別作業

その他、参加した全員からお礼の文章を頂きました。担当の吉田先生始め、皆様ありがとうございました。(青年部 紺野)

副部長 紺野 琢生



青年部 副部長を仰せつかって
いる(株)三栄サービスの紺野琢生で
す。

東村山に生まれ育ち、その後大
学進学と就職で、北海道札幌市に
八年ほど住んでいました。

平成十三年五月に帰郷し、父の
会社に入社しました。

入社とともに古紙相場が毎月一
円ずつ下がっていくような状況で、
とんでもない時期に戻ってきちゃ
ったなあと半分後悔したことを思
い出します。

その年の七月に父が理事長をし
ていた東資協の青年部へ誘われ入
部、十一月には当時の岩窪副理事
長と鰐淵専務理事のご子息とともに
に東資協三役の二代目三人で「ジ
ュニアーズ」を結成し、良くわか
らないうちに組合活動にもめり
込んでしまいました。

翌年七月には、土井初代部長の
下、東多摩再資協青年部を創立、
厳しい業界の状況を何とか打開し
ようと頑張って活動をしてまいり

ました。

相場がよくなったといわれてい
る今こそ業界の真価が問われてい
ると思い、今では気持ちを引き締
め直しながら、また仕事が出来
ることに感謝しながら日々青年部活
動にまい進しています。

幹事(広報担当) 福田 雄二



私は昨年の3月に学校を出て十
四年続けたサラリーマン生活
を無事卒業しまして現在の奥山商
店(株)に入社しました。母方の叔父
が長年苦勞をしながら経営してき
た会社です。両親もこの会社で長
く働き、多少の不自由はありまし
たが(笑)私を育ててくれた会社
です。現在の社長も一人っ子の私
の兄のような従兄弟がやっている
こともあり、微力ながらお手伝い
ができればとの思いでした。

奥山商店創業者の叔父も今年の
5月に残念ながら亡くなり、不安
ばかりが先立ちますが、若い従業
員と楽しく仕事をしながら、組合
活動、青年部としての活動を通し
「資源循環型社会」の一翼を担え
ればと思っております。

幹事(研修担当) 水野 敬



広報担当から研修担当に変わ
りました(株)水野商会の水野敬一で
す。

二十一歳でこの業界に入り、違
う業界を見てみたいという理由か
ら数年離れ、三年前からまた戻っ
てまいりました。

平成十五年の年末より青年部に
参加させていただき、翌年四月よ
り正式に部員になりました。

この業界で一緒に働く同世代の
仲間がはじめてできてうれしかっ
た事を覚えています。

青年部である我々が、率先して
活動する事が業界の活性に繋がる
と思っております。

状況変化の激しい業界の変化を
見逃さず、安全作業を心がけ、地
域・社会に貢献できる活動をして
いきます。

青年部 吉浦 亜矢子



私が(株)久米川紙業に入社してか
ら、アルバイトの時期も含め約九
年になります。
アルバイト時代はラインでの選
別作業、パッカー車での回収(一
度だけ)そして事務、社員になっ
てからは経理事務、今は営業とし
て働いています。
五年前に創立された東多摩青年
部には、父から半ば強引に、ほぼ
強制的に入部させられたといっ
ても過言ではないと思っております
その活動の中で部員の皆様には沢
山のことを教えてもらいました。
そして入社九年目にしてやっと
色々なことが見えてくるようにな
った今、子供の頃は嫌いだっ
たこの職業も今では自分の誇りや自
信に変わりました。
私の意識がこのように変化した
のも、長い間厳しく、時に優しく
指導し、尚且つ様々なチャンスと
与えてくれた両親のおかげである
と、口では文句を言いながらも心
では感謝し、そのチャンスを無駄
にしないようひたすら努力する毎
日です。
なかなか部会に出席できない私
ではありますが、今後も青年部活
動を頑張り、組合活動や資源循環
型社会作りにも貢献して行きたい
と思っております。

事務・会計 柿崎 正則



私は、昭和四十三年七月八日、
埼玉県越谷市で生まれ、その後、
千葉県流山市に住んでいます。

昭和六十三年、駒澤大学に入
学し、文学部英米文学科、その後、
歴史学科(日本史専攻)への編入
学を経て、合わせて七年間の大学
生活を過ごしました。

大学卒業後就職活動を始めまし
たが、バブル景気後の不況時で、
さっぱりうまくいきませんでした。

そんな時、東多摩再資協事務局
を紹介され、入社しました。四ヶ
月間の柳泉園・小平の両リサイク
ルセンターや、組合事務局での研
修後、正式採用されました。資
リサイクル業界と聞いて、両親が
地元自治会で集団回収の手伝いを
していたことを思い出し、簡単に
考えていましたが、当組合に入社
して、リサイクルの奥深さを知り、
大変驚きました。現在私は、回収
された資源物のデータ収集、組合
機関紙「ヴィーナス通信」の編集、
トイレットペーパー「ブローメラン」
の配達、組合青年部付の事務担当

小平市 「エコダイラネットワーク」 『環境家計簿』で省エネ活動

同ネットワークは、二〇〇三年
に小平市市民環境配慮指針「変
えよう! 私たちの暮らし方」を作
成した団体である。環境にやさし
い暮らしの提案と実践をし、市の
関係各課と連携しながら、ごみ
減・省エネ・まちづくりなどの部
会に分かれて活動している。
省エネルギー部会では、三年前
から地球温暖化を防止しようと、
市民と事業者に対し毎月の電気・
ガス・水道等の使用量を記入する
『環境家計簿』実践活動呼びか
けている。(期間七月〜十一月)

自分たちが使っているエネルギ
ーの量を確認することで、発生す
る二酸化炭素の削減につなげよう
というこの試みは、毎年参加者が
増え、地球温暖化に対する小平市
市民の関心の高さがうかがえる。

問い合わせは、小平市環境保全課
電話042-346-9815へ

家計簿に記入して下線から切り離し、環境保全課(042)346-9643にファックスしてください。

みんなで省エネ!!

箱取書の見方
裏面を参考にしてください。

月分 環境家計簿

NO. _____

チャレンジしてみよう

電気 ガス 水道 ガソリン 灯油

| | | | | | |
|--------------------------|-----------|----------------------|----------------------|----------|----------|
| 前年同月の使用量 | _____ kwh | _____ m ³ | _____ m ³ | _____ ℓ | _____ ℓ |
| 排出係数 | ×0.38 | ×2.1 | ×0.58 | ×2.3 | ×2.5 |
| A CO ₂ 前年の排出量 | _____ kg | _____ kg | _____ kg | _____ kg | _____ kg |
| 今月の使用量 | _____ kwh | _____ m ³ | _____ m ³ | _____ ℓ | _____ ℓ |
| 排出係数 | ×0.38 | ×2.1 | ×0.58 | ×2.3 | ×2.5 |
| B CO ₂ 今月の排出量 | _____ kg | _____ kg | _____ kg | _____ kg | _____ kg |
| A - B = C | _____ kg | _____ kg | _____ kg | _____ kg | _____ kg |
| C ÷ A × 100 = | _____ % | _____ % | _____ % | _____ % | _____ % |

今月のCO₂排出総量 B列の電気、ガス、水道、ガソリン・灯油の合計 = _____ kg
*プロパンガスの場合は二酸化炭素係数は6.3です。

お便りコーナー
アイデア、注文なんでも結構です。

ヴィーナス短信

●中越沖地震に義援金を送る

七月一六日午前一〇時過ぎに発生した新潟県柏崎市を中心とした直下型地震は、刈羽原発をも巻き込んだので大震災となりました。多くの被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。

東多摩再資源化事業協同組合は、理事はじめ関係者からの厚意により、義援金二十万円を送りました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

●トヨタ看板方式も看板倒れ

地震の影響が自動車産業をも直撃した。震源地近くで操業している自動車部品メーカー『リケン』の工場が被害を受け、そこで製造している「小さなピストンリング」の供給がストップしたのだ。

六月十一日視察したトヨタでは、一台の自動車に約三万点の部品が使われると言う。十二の工場にある長い組み立てラインにそれらの部品が的確に配られ車体に装着されていた。使用された部品は、品別にリアルタイムで集計され、また即座に生産元に発注される。

自動車メーカーは殆ど在庫を持たないのが看板方式の合理的なシステムであると言説していた。

しかし「小さなピストンリング」一個があつた長い長い生産ラインと従業員六万五千人の手を一〇日間も止めてしまった。

なお今回はすべての自動車メーカーが同じ経験をした。

技術立国日本、特に誇るべき自動車産業と原子力平和利用事業が、地震大国で共存してゆく新たな対応が必要になってきたようだ。

●中国語講座始まる

去る七月三十一日より、青年部の主催による中国語講座が開かれた。これからは、中国との交流が必須と企画されたものだ。

第一回目は七名が受講し、悪戦苦闘していたが、講師の先生が台湾出身で美人の楊さんとあつてか、みな想いのほか真剣に取り組んでいた。受講する目的は夫々違うようだが先ずは継続が大切だ。

行事・行動

【平成一九年六月】

- 八日：(社) 東リ協会委員長会
- 一〇日：日資連・全国大会(岐阜)
- 一一日：トヨタ自動車元町工場

福田三商本社等視察

一二日：定例理事会

一四日：古紙C理事会業務委員会

一五日：東村山廃棄物減量審議会

二〇日：(社)東リ協会理事会

二一日：段ボール協議会総会

二二日：都中央会組織委

：クリーンジャパンC総会

：青年部会議

二三日：古紙問題市民ネット総会

二六日：小平RC安全会議

二八日：集団回収委員会

二九日：都中央会役員会

：エコアクション21会議

【七月】

三日：3R推進会議理事会

五日：広報委員会

：エコ検定勉強会

六日：東北資源連合会セミナー

八日：栃木県資源連合会

一〇日：小平三中生一三名

四日間の職場体験始まる

一一日：定例理事会

一三日：小平RC安全会議

一五日：エコ検定試験

一七日：(社)東リ協会理事会

一八日：(社)東リ協会全体会

一九日：財務委員会

二一日：関資連理事会

：日資連理事会

二三日：広報委員会

二五日：小平市廃棄物減量審議会

二七日：青年部会議

二九日：家族リクリエーション

三〇日：小平RC安全会議

三一日：青年部・中国語講座

【八月】

六日：広報委員会

九日：(社)東リ協会多摩部会

一〇日：定例理事会

一三日：エコアクション21会議

二〇日：(社)東リ協会理事会

二四日：東京とことん討論会

二五日：東京とことん討論会

編集後記

入江様「直言拝聴」に御寄稿下さり大変ありがとうございました。とても楽しく読め、リサイクルに必要な夢や目的、姿勢を教えられました。今後ともご指導お願い致します。

ECO検定(環境社会検定試験)を受けてきましたが、全然受かる自信がありません。

古紙の仕分けは得意ですが、環境に対する法律や世界の人々が地球に対してどんな考えを持っているか、勉強不足を嫌というほど感じました。今年中にもう一度試験があるので、挑戦してみます。皆さんもどうですか。

詳しくは事務局へどうぞ。

(吉浦高志)